

5. 価値向上に向けた自然資本関連課題に係る食品企業の動向

自然資本関連課題に対する食品企業の動向

今回の調査では、食品企業において自然資本関連課題に対する取組は進んでいるものの、ベストプラクティスと呼べる先進企業とそれに準ずる企業の間においても、顕著な差がある状況が明らかになった。

企業価値の向上に資する食品企業の自然資本への取組

①自然資本が関わるリスク・機会視点で
ビジネスモデル全体を俯瞰する

②新しい市場のルールに沿って先んじて
手を打つ

先進企業の動向

- ✓ 市場のリスクと機会を把握しており、川上と協力して自然資本に配慮した取組を進めている。
- ✓ 自然資本の取り組みに対して、自らの物差しを保有しており、開示の枠組みが定まる前から情報開示に積極的に取り組んでいる。

- ✓ 自然資本の取組を活かして、商品・サービスに対する高い付加価値の創出に挑戦している
- ✓ 調達から生産、商品・サービス提供まで、日々改善サイクルを回している。

準先進企業の動向

- ✓ 市場のリスクと機会を把握しており、自社で自然資本に配慮した取組を進めながらも情報開示をせず、投資家に訴求できていない。
- ✓ TNFDなどの、情報開示に向けて積極的に取り組む意欲があり、ルール整備や開示に向けたサポートを望んでいる。

- ✓ 事業部門が個別に自然資本関連課題への取組を進めている。
- ✓ 調達から生産、提供をつなげる努力をしているが、高い付加価値の獲得に至っていない。

自然資本関連課題に対して取り組む食品企業が直面する課題

自然資本関連課題に取り組む食品企業は、価値向上に取り組む中、実務上で実行力の獲得や社内の推進力不足などの課題に直面している。

食品企業が直面する主な課題

取組状況

価値向上に向けた課題	食品企業が直面する主な課題	取組状況
実務上の課題	<ul style="list-style-type: none"> • TNFD、SBT for Natureへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> • 関連動向を確認し、開示の準備を進めている
	<ul style="list-style-type: none"> • ESGブランディング・国際プレゼンス向上、ESG評価向上 	<ul style="list-style-type: none"> • 企業価値向上のため社外発信に取り組んでいる • 非上場でも積極的にプレゼンス向上を進めるケースもある
	<ul style="list-style-type: none"> • 投資家との対話や、フィードバックへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> • 自然資本に関しても投資家と対話を進めている
	<ul style="list-style-type: none"> • 経営者・幹部リーダーシップへの認知向上、社内浸透 	<ul style="list-style-type: none"> • 経営層は自然資本の重要性を理解している • 従業員や現場スタッフに浸透を進めるが理解に濃淡がある
今後の取組課題	<ul style="list-style-type: none"> • 自然資本関連の人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> • 自然資本の専門性を持つ人材獲得は困難 • 外部の力を借りて専門性を高めている
	<ul style="list-style-type: none"> • 専門性の強いNGO・研究機関との連携やマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> • 関係機関の協力が必要だが接点がないケースもある
	<ul style="list-style-type: none"> • 消費者への理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> • 自然資本への配慮に関するお客さまや地域の子どもへの理解促進や、活動への巻き込みを開始している
	<ul style="list-style-type: none"> • 自然資本に関する情報提供、データ化・データ提供 	<ul style="list-style-type: none"> • 自然資本に関する統合的な情報や取組を支援するデータ・ツールが揃っていない中で対応を進めている
	<ul style="list-style-type: none"> • 企業連携、地域活動のハブ等とのマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> • 他の食品企業を巻き込んだ活動があまり進んでいない • 地域と協力した取組に必要なハブとの接点が不足
	<ul style="list-style-type: none"> • 日本固有の自然環境への理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> • 海外の枠組みからすると、日本の豊富な自然資本の状況は異なるため事業のリスクが大きく見られる懸念がある
	<ul style="list-style-type: none"> • バリューチェーンにおける自然資本の取組浸透 	<ul style="list-style-type: none"> • 規模の小さい生産者や中小企業の取引先など自然資本の配慮の必要性への理解が進んでおらず、取組が浸透しない